

(公社) 北九州市シルバー人材センター



(2月号)

1月1日現在 男 1,616名
女 1,002名
総会員数 計 2,618名

私は特別会員です

特別会員についてご存知でしょうか。「就業はできないが、シルバー会員でありたい」という正会員のために、20年前の平成17年に導入されました。現在、特別会員は22人(男性16人、女性6人)。その中の一人、安倍清さん(八幡西区)に特別会員になった理由や特別会員の楽しさなどについて聞きました。

聞き手は松浦憲一郎・広報委員長です。

八幡西区 安倍清さんに聞く

―入会はいつですか。地域班



はどこに所属していますか
安倍 私は平成15年にシルバーに入りまして。地域班は八幡西区の八児班です。

―どのような経過で特別会員になったのでしょうか

安倍 私は69歳からシルバーで長く仕事をしてきました。まず折尾の駐車場管理から本城の駐輪場管理へと続けてきました。地域班長などもしました。高齢となつてから、体調も悪くなつたので仕事はやめました。



しかし、シルバーをやめると、シルバーの友人や仲間とのつながりがなくなるので寂

円、互助会費600円)になります。

特別会員への移行 希望届を受け付け

正会員で特別会員への移行を希望する方に対し、移行希望の届け出を受け付けます。

ただし、特別会員へ移行できるのは以下の基準を満たしている方に限ります。特別会員の年会費は1100円(会費500

▼移行基準

- ① 会員在籍期間が連続3年(36カ月)以上の正会員、または班長以上の役職を1期以上務めた正会員。
- ② 会費の未納がないこと。
- ③ センターの名誉を棄損した者、目的違反をした者、及び

しくなると思っていました。そうしていたところ本部事務局の人から特別会員を勧められました。会費は1100円(互助会費を含む)になると聞きました。シルバーをやめずにすみ、つながりが続けられるのはいいなと思い、令和4年4月に特別会員に移りました。

―特別会員になって、どうですか

安倍 正会員の時と同じように、ごく自然に友人・仲間と顔を会わせることができるのが特に出る親しく話をしたり、職群班時代の友人・仲間と会って楽しく過ごしています。

八児班には古墳研究会があり、これに参加して旅行を楽しんだりもしています。コロナ禍以前はカラオケにも行ったりしていたので、また行けたらと思います。

―移行して、面倒なことはありませんか

安倍 会費の納入が面倒だと思っていました。3月になると事務局から振込用紙を送ってくるのでやめずにすんでいます。つながりは有り難いし、シルバーには感謝しています。

公序良俗に反することをしたものは除きます。

特別会員への移行を希望する方は企画課にご連絡ください。

手続きのための書類(特別会員移行希望届)を送ります。特別会員移行希望届は3月1日(15日(必着))に、企画課あてに提出してください。正会員から特別会員への移行

藤代医師の 健康アドバイス

腰痛対策について

腰痛は二本足歩行をするヒトの宿命とも言われています。では、その対策はあるのでしょうか?

ヒトの背骨は本来S字を描いており、スプリングのように重量を支えるのですが、このS字が崩れてしまうと腰椎に負荷がかかり、椎間板ヘルニアや圧迫骨折といった障害を発生してしまいます。要は、生物種としてのヒトの生理的な正しい姿勢を保つ努力こそが、腰痛予防の根本ということになるのです。

これには、反面教師を観察し、そうならないようにすることが分かりやすいと思いますが、ずばり、歩きながらスマホが悪い見本と言えるでしょう。前かがみでうつむいて、しかも歩幅は小さくなっている姿にならないように、ご注意ください。

産業医 藤代 一也



小倉城おしるご会を手伝った会員

小倉城おしるご会に 会員13人が支援参加

66回目となる新春恒例行事「小倉城おしるご会」が成人の日の1月13日、小倉城天守閣前広場で開催され、小倉北区と小倉南区のシルバー会員13人が参加し運営を手伝った。朝から晴れて穏やかな日和

は4月1日付になります。

夫婦会員を募集

正会員の配偶者が新たに入会された場合、夫婦会員となり、年会費が900円お得になります。皆様の配偶者にぜひ入会を勧めてください。既に夫婦で会員の場合、申請の必要はありません。

清掃後に渡し場で記念写真に収まる会員



若松区会員が清掃奉仕

若松区の会員は1月12日(日)に若松恵比須神社や周辺で清掃作業をしました。

1月9日(11日)にある「十日えびす祭」後に行う新春恒例のボランティアで、厳しい寒さの中、午前8時に区役所駐車場に11人が集合。シルバーの法被を着て約1時間、神社境内や区役所から渡船場までの道路沿いなどで空き缶やごみなどを拾い集めました。

若松区会長 脇田 修至

安全標語を募集します

安全委員会は会員の皆様の安全就業に関する意識の向上を図るため令和7年度の「安全標語」を以下の通り募集します。入選者は定時総会で表彰します。

【応募資格】 当センターの会員
【応募要領】 応募作品は未発

表のものに限ります(1人3点以内)。郵便はがきに必ず「安全標語」と明記して、氏名・会員番号を書いてください【応募締め切り】 2月28日(金)まで
必着【送り先】 〒802-0006 小倉北区片野新町一丁目1-6 北九州市シルバー人材センター本部 小林あて

会員募集

公益社団法人 北九州市シルバー人材センター本部
TEL 093-922-4801 FAX 093-922-4818
〒802-0062 北九州市小倉北区片野新町一丁目1-6
ホームページ <https://kitakyusilver.jp/>

西部出張所
TEL 093-482-6112 FAX 093-482-6114
〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎三丁目15-3
コムシティ3階



HPは
ここから

◇屋外広告物条例違反広告物除去業務

募集名	①違反広告物除去作業運転手	②違反広告物除去作業員
業務発注者	北九州市 都市整備局 道路部管理課	
募集対象区(就業場所)	門司区、小倉北区、小倉南区、若松区、八幡東区、八幡西区、戸畑区	門司区、小倉北区、小倉南区、若松区、八幡東区、八幡西区、戸畑区
就業時間	9時～16時30分（実働6.5時間）週2～3日シフトによる	9時30分～16時（実働5.5時間）週2～3日シフトによる
募集予定人員	募集対象区 各2名、計14名	募集対象区 各4名、計28名
申し込み要件	過去6カ月間未就業の健康な方 ゴールド免許所持者又は過去3年間加害事故歴のない方（要：免許証提示） ※年齢制限：申し込み時点で73歳まで	過去6カ月間未就業の健康な方 屋外での軽作業が可能で丁寧かつ確実に作業を進められる方
業務内容	作業車の運転と作業班の事務作業含む統括（リーダー）業務	違反広告物の除去作業
就業日の集合場所	本部	各区役所

◇駐輪指導業務

募集名	③駐輪指導員
業務発注者	北九州市 都市整備局 道路維持課
就業場所と募集人員	門司駅：1名、小倉駅：4名、西小倉駅：4名、井筒屋・魚町：4名、城野駅：2名、下曾根駅：2名、安部山公園駅：1名、北九州モノレール：4名、二島駅：1名、八幡駅：1名、枝光駅：1名、スペースワールド駅：1名、黒崎駅：2名、折尾駅：2名、陣原駅：1名、戸畑駅：2名、九州工大前駅：2名 ※小倉駅、西小倉駅、井筒屋・魚町は午前と午後両方の就業あり ※複数募集地域は人数変更の可能性あり
就業時間	1日あたり2～3時間。時間帯は就業場所によって異なります。
業務内容	就業場所の自転車駐輪指導、月締め報告書の作成
申し込み要件	過去6カ月間未就業の健康な方 徒歩による地域内の巡回指導に支障がない方

募集に関する共通事項

申し込み	1人1件のみ応募可
職群変更の面接	職群班に所属している方は、職群変更の面接が必要。ただし、運送班、保管所、駐車場、駐輪場等の待機者は不要。
採用の決定と通知	応募者多数の場合は、過去の就業状況等を考慮して抽選します。2度続けて落選された方は3度目を受ける時に申し出てください。
就業期間	令和7年4月1日から令和7年9月30日まで ※屋外広告物条例違反広告物除去業務は土日祝日の就業があります。
応募方法	●ハガキでの応募 お名前、ご住所、会員番号、応募したい仕事、就業希望区をハガキに記入のうえ郵送してください。 ●パソコンでの応募は下記サイトにしたがって入力してください。 https://forms.gle/xGFz8yNFccpHKZpT9 ●スマートフォンでの応募 右のQRコードサイトにしたがって入力してください。
応募期間	令和7年2月14日（金）まで必着
申し込み先	本部 吉武まで
応募結果	令和7年3月上旬頃までに郵送にて連絡します。

募集します

4月から9月まで就業の違反広告物除去作業員及び駐輪指導員

過去6カ月以上未就業の方へ！

応募締め切り
2月10日必着



優秀賞に選ばれた
④岡野さんの工芸作品
⑤山本さんの水彩画作品
⑥樋口さんの手芸作品



小倉北区・樋口さんの刺繍作品などが優秀賞
「さわやかシルバー作品展」の入場者の投票の結果、出品作品103点の中から次の3人の作品が優秀賞に選ばれました。
(敬称略)
手芸「刺しゅう・グリム童話」樋口三月子（会員・小倉北区）
▽工芸「孔雀」岡野直子（一般・戸畑区）
▽水彩画「カナディア



が参加しました。
この作品は当センター設立後すぐから30数年続く伝統行事です。新年度も会員の皆様の出品と来場をお願いいたします。ちなみに私も絵手紙グループ



熱心に作品を見る来場者

出品し運営にも参加
さわやかシルバー作品展
今年度「さわやかシルバー作品展」が12月19日から24日までリバーウオーク北九州5階市民ギャラリーで開催され、寒い日が続きましたが214人の来場がありました。

公益目的事業委員として初めて運営に携わり、会場の設営・受け付け・後片付けなどを経験しました。設営はベテラン委員の指導のもと作品の配置・飾り付けをしました。
受け付けを2日間担当し、多くの来場者の話を聞くことができました。作品を見て特にお気に入り3点を選んで投票する時に「すべてが特に！なので（選ぶのは）難しいです」とか「このすばらしい作品は譲っていただけなのですか」といった話があり、大変うれしく感じました。
この作品展は当センター設立後すぐから30数年続く伝統行事です。新年度も会員の皆様の出品と来場をお願いいたします。ちなみに私も絵手紙グループ

★会費納入のお願い
正会員または特別会員で会費未納の方は、3月末までに納入されない場合、規定により退会となりますので、至急納入されるようお願いいたします。
なお、振込用紙は2月初めにお送りします。問い合わせは企画課へ。
発行 公益社団法人北九州市シルバー人材センター

★会員通信を募集
「会員通信」の原稿を募集しています。
感動したり、楽しかったこと▽身近なできごと▽体験談▽安全や健康に関すること▽就業や同好会に関すること▽その他、知って欲しいこと——などを、600字以内の文章にして、本部企画課へお送りください。写真付きも大歓迎です。

おわび シルバー日より1月号「会員通信」の「菅公が天神様になったのはなぜ？」の記事で、筆者、前崎成二さんの住所が「八幡西区」とあるのは誤りで、正しくは「八幡東区」です。おわびして訂正します。
「あじさい」（若松区）の一員として、前回に続いて2回目出品をしました。
今回はクリスマス時期の開催で、企画課運営担当者の守吉さん提供の大きなクリスマスツリーが会場に花を添えていました。ありがとうございます。
新年度の開催（秋ごろ予定）も成功させましょう。
若松区公益目的事業委員
神宮司 直清